

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 10号)

2023年 1月12日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラス、大型珪藻のユーカンピア等が発生しており、特に海域西部において、ユーカンピアが依然多く確認されました。上げ始めでの調査ということもあり、窒素は明石海峡部の海水の影響が見られる林崎漁場以東で概ね2~3 $\mu\text{g-at/L}$ 台、魚住漁場以西では、陸水等の影響が見られる地点を除き1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の低い値となっています。

(水温) 漁場内平均11.0 $^{\circ}\text{C}$ 。平年比0.5 $^{\circ}\text{C}$ 、昨年比0.7 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い。(塩分) 平均32.40psu。前回(32.36)より0.04psu高い。
 (栄養塩、珪藻) 海域全般に、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラス、大型珪藻のユーカンピアが多く確認された。前回(1/6)調査と比較して、キートセロス、レプトシリンダラスの発生量は横ばいであるが、ユーカンピアの発生量はやや増加傾向にある。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、林崎漁場で5~50細胞(前回値:0~20細胞)、魚住~別府漁場で50~200細胞(前回値:30~150細胞)、高砂~伊保・白浜漁場で200~300細胞(前回値:200~300細胞)であった。上げ始めでの調査ということもあり、海域西部の珪藻類が多く低栄養塩の海水が、海域東部まで波及していたと考えられる。
 別府漁場では、陸水等の影響によりアンモニア態窒素の値が特異的に高くなっていた。

| | 前回値 | 今回値 | 平年値 | 昨年値 |
|----|------|------|------|------|
| 水温 | 11.2 | 11.0 | 10.5 | 10.3 |
| 窒素 | 2.7 | 1.7 | 4.2 | 2.8 |
| リン | 0.48 | 0.41 | 0.43 | 0.35 |

(1/6)

※窒素の平均は別府を除く

(1/16)

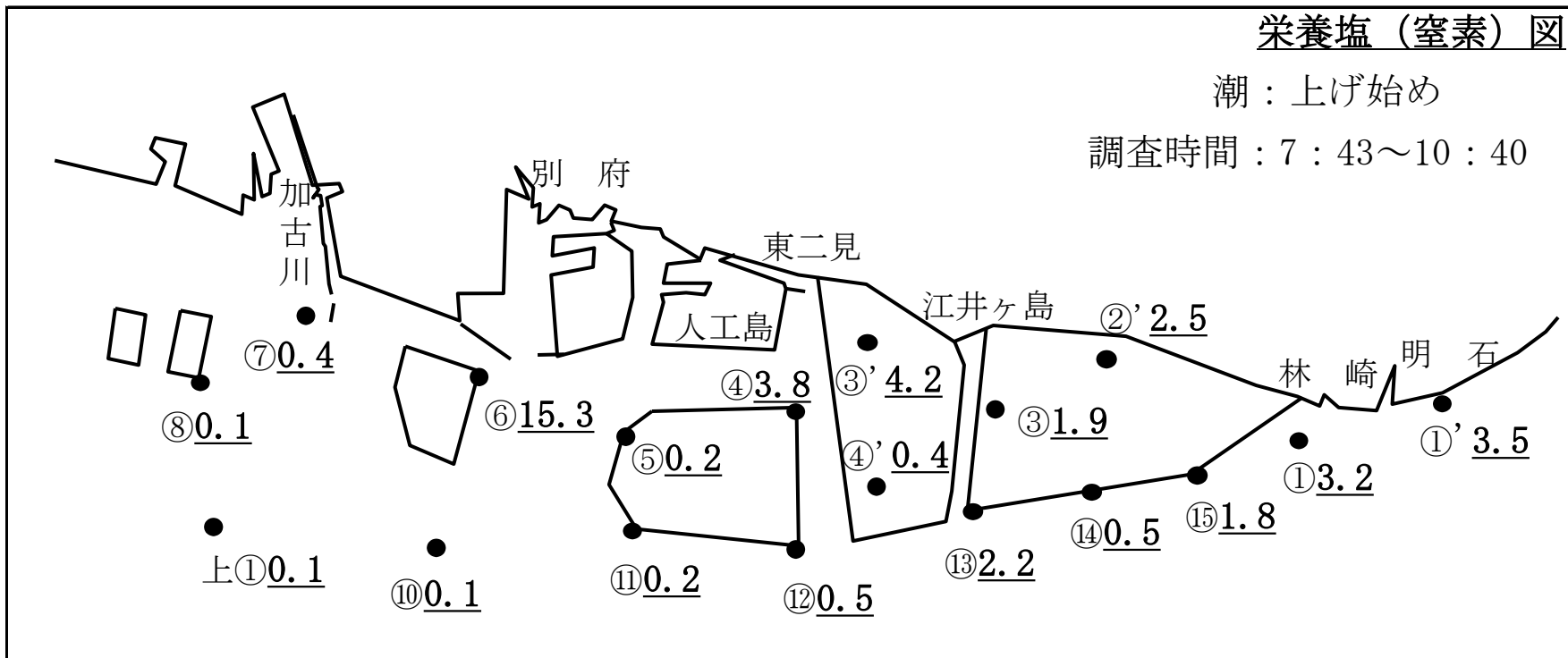
| 西播地先 | | | | | |
|------|----|-------------------------|-----|----|-------------------------|
| 伊保地 | 水温 | 10.5 $^{\circ}\text{C}$ | 伊保沖 | 水温 | 10.7 $^{\circ}\text{C}$ |
| | 窒素 | 0.1 | | 窒素 | 0.1 |
| | リン | 0.35 | | リン | 0.38 |
| 白浜地 | 水温 | 10.7 $^{\circ}\text{C}$ | 白浜沖 | 水温 | 10.4 $^{\circ}\text{C}$ |
| | 窒素 | 0.1 | | 窒素 | 0.1 |
| | リン | 0.35 | | リン | 0.35 |

2023年 1月12日調査

栄養塩(窒素)図

潮：上げ始め

調査時間：7:43~10:40



水温図

